

社会福祉法人 ^{恩賜財団} 済生会支部埼玉県済生会加須病院			
文書名	院内感染防止対策マニュアル C-5：高水準消毒薬使用時の注意		
文書番号	感対-共手-マニュアル C-5-1-220601	ページ	1 / 2

C-5：高水準消毒薬使用時の注意

高水準消毒薬は広い抗微生物スペクトルや強い殺微生物力がある一方、人体に対する毒性も強いいため、安全な適正使用が求められる。

<当院採用消毒薬>

- ・グルタラール / ステリスコープ 3W/V%液（内視鏡洗浄器用）
グルトハイドプラス 3.5%液（浸漬消毒用）
- ・フタラール / ディスオーパ消毒液 0.55%（自動洗浄装置での使用が望ましい^{*1}）
- ・過酢酸 / アセサイド 6%消毒薬（OPE 室でのみ使用）

<使用する際の注意事項>

①防護具の着用



<防護具の着用例>

- ・エプロン：防水性であるもの。
可能な限り体を広く覆うもの（長袖）を選択する。
- ・グローブ：ニトリル製を推奨。
ラテックス製の場合 2 重に装着することが望ましい。
- ・ゴーグルおよびキャップ
ゴーグル、フェイスシールド又はアイシールド付のマスクの着用が推奨されている。
- ・マスク：気密性の高いマスクを着用すること。
専用マスクは中材に在庫している。

②換気・排気

- ・窓もしくは換気扇のないところでは使用しないこと。
- ・換気状態の良い場所で使用すること。窓を開けるなどして空気の流れを作り、蒸気を速やかに排出させる。

社会福祉法人 ^{恩賜} 財団 ^{財団} 済生会支部埼玉県済生会加須病院			
文書名	院内感染防止対策マニュアル C-5：高水準消毒薬使用時の注意		
文書番号	感対-共手-マニュアル C-5-1-220601	ページ	2 / 2

③濃度測定

- ・高水準消毒薬は使用日の始業時に濃度チェックを行い、チェック日および結果、チェック者名を記録に残す。

④作業の留意点

- ・薬液の調製・交換作業、浸漬、取り出し作業時は、素早く、かつ、こぼさないように丁寧に行う。
- ・蒸気の漏れ出しを防ぐために蓋付き容器を用いる。
- ・消毒後の器具は、残留消毒薬がないように十分にすすぎを行う。
- ・床などにこぼしてしまった場合、モップなどで速やかに拭き取り、十分な換気を行う。